

日時 Date and time	2021年6月13日（日） (120分) 13時～ June 13, 2021 (90 minutes) 13:00 ~ 15:00
タイトル Title	散歩するオンライン美術鑑賞の実験 An Experiment in Strolling Online Art Appreciation
	定期的に実施しているオンライン講座での実験 Experiments with regularly scheduled online courses.
場所 Location	オンライン Online
参加者 Participant	3人 3 people
鑑賞作品 Art works	カスパー・ダヴィド・フリードリヒ 「雲海の上の旅人」 Caspar David Friedrich "Wanderer above the Sea of Fog" https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AB%E3%82%B9%E3%83%91%E3%83%BC%E3%83%BB%E3%83%80%E3%83%BC%E3%83%B4%E3%82%A3%E3%83%88%E3%83%BB%E3%83%95%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%83%89%E3%83%AA%E3%83%92#/media/%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%AB:Caspar_David_Friedrich_-_Wanderer_above_the_sea_of_fog.jpg



＜参加者準備物＞

- ・メモ用紙 (A4 サイズ程度、2~3枚)
- ・ペン
- ・すぐ外出できる準備。 (雨の際は雨具など)

内容 Contents	詳細 赤字は次回の改善案 Details The red part is the next improvement plan.	時間 Time	経過 Process
準備 preparation	作品の画像を事前に送っておく。 Send images of art work in advance.		
概要 Overview	プログラムについての説明。タイムスケジュール Explanation of the program. Time Schedule	10	10
ウォームアップ Warming-up	<p>鑑賞作品のリンクを送り、3人で実況しながら鑑賞する。</p> <p>実況する順番を決める。</p> <p>持ち時間は、1周目=1分間、2周目=3分間</p> <p>持ち時間の間は、作品を見て思いついたこと、考えたことを常に話していなければならぬ。</p> <p>沈黙や、言葉に詰まることは避ける。</p> <p>人と同じこと、自分はそう考えていないことなど、何を言っても良い。</p> <p>とにかく話し続けることが重要。</p> <p>ファシリテーターは、相槌を打ったり、「それで？」と、話の続きを促したりする。</p> <p>深く考えることはできないので、「考えの種」のようなものを、とにかくたくさんばらまくイメージで行う。</p> <p>また、他の人の話をよく聞き、おもしろい「考えの種」をいくつかメモしておく。 (他人の番のときは、自分の番のことを考えない)</p>	15	25
対話	<p>参加者にこれまでの鑑賞体験について、話してもらい、共有する。</p> <p>進行は参加者に任せる。</p> <p>Ask participants to talk and share about their viewing experiences so far.</p> <p>Leave the facilitating to the participants.</p> <p>10 minutes</p>	10	35

問い合わせる Create a question	「考えの種」を一つ選び、「問い合わせ」に変換する。 紙に書き出しておく。 変換する「考えの種」は、自分のものでも、他人のものでも良い。 「問い合わせ」とは、あなたが興味を持ったこと、知りたいことで、疑問形、問い合わせの形になった文章のことです。 Choose one "seed of thought" and convert it into a "question". The "seed of thought" to be converted can be your own or someone else's. A "question" is a sentence in the form of a question, something you are interested in or want to know about.	5	40
散歩 dialogue	30分間の散歩に出る。行き先は任意。 「問い合わせ」を手がかりに、関連する事について考えてみる。 絵から離れて、絵について考えてみる。 Go for a 30-minute walk. Destination is optional. Use the "questions" as clues to think about related things. Step away from the picture and think about the picture.	40	80
対話	全員でこれまで考えたことを共有する。 All share what they have thought about so far.	20	100
総括	プログラムを総括する。参考資料を送る。 Summarize the program. Send reference materials.	20	12 0

対話の文字起こし

◆ 1分間の実況鑑賞

1：小学生

「ゼルダの伝説 ブレスオブザワイルド」のパッケージそのまま（笑）。
なんか岩しかほぼ見えない。
霧みたいなやつが、黄色い部分がある。
すごいなんか真ん中の男の人が立ってるところ・・岩がめっちゃ荒い。
うっすら山が見えて、崖がたくさんある。

2：高校生

奥の方に、山よりももうちょっと手前に、岩がこういっぽいたってるんですけど、ほとんどのやつは木がはえてないのに、右側の真ん中辺りのやつだけ、なんか松みたいな木が生えている気がします。その奥の方に、結構左側には山っぽい・・山って感じのがあるんですけど、右側にも結構遠い割に大きく描いてある岩の崖みたいな塊があって、相当大きい崖なのかなと思いました。男の人がスーツを着ていると思う・・スツっぽいちゃんとシャキッとしたのを着てると思うんですけど、でも岩の上に立っているから、山を登ってきた割には服がシャキッとしてるなって思いました。

3：1の親

この男の人、がパッと見た時に（イギリスの）ヘンリー王子に見えて・・ヘンリー王子が何ていうか・・なんか荒波にこれから向かっているみたいな、なんか（ヘンリー王子の）色々な情報が（自分に）入ってきてしまってるからかもしれないけれど、そう見えていて、なんか孤独とか・・見方によっては、達成感があって、これから先を目指すっていう絵にも見えるけど、なんか孤独の中で、一人でこれからやっていくしかないみたいな・・なんかそういう風に見えて、雲の上なのか・・題名はそう書いてあったけど、だけどこれは私は何か荒波に見えて仕方なかった。荒い波の海に見える。水しぶきがいっぱいある。

◆3分間の実況鑑賞

1 :

奥に何かうっすらなんかでっかい岩がある。なんかちょっとそれが一瞬なんかモアイ像に見えて・・それでなんか右側の崖の所に、たくさん木が生えてて、それでなんか岩のところも、なんか赤の色が付いていて、すごい霧がなんか濃い日なのかなって思って・・かなり山がうっすら感じて、磯とかにも見える。男の人が立ってる岩の左側・・なんかちょっと毛みたいなのがあって、それで磯に生えてそうな苔に見えるかなって思って、結構奥の方は、木がたくさんある、奥の方に木がたくさん生えてるように見えて、山がずっと奥に続いている感じ。

2 :

なんかこの絵の何て言うんだろう、絵の情景の時間帯が、外が明るいし、結構霧がかかってるから、なんか朝の、朝明け方の結構早い時間なのかなって思いました。

で、そうすると、やっぱりもうあのその山の、こんなてっぴんぽいところに立っているところから、朝に入るってるところから、やっぱり登ってきて1日泊まって・・やっぱり登ってきたのかなって思ったのと、登山してきたかなって思うので、この服装がやっぱり謎だなって思いました。

で、さっき石の岩のところに、右側だけ木が生えてるって言ったと思うんですけど、左側の岩のなんだろう・・左側の岩の2個あるうちの1個の方のやつてっぴんにも、なんかチョロチョロと生えていて、あとそのその岩の下、左側の隅の方に、岩の下のなんか木か分かんないですけど、やっぱりモサモサとなんか何かがあるなって思いました。

あと、あの真ん中の男の人が、なんか若い人なのかと思ってたんですけど、なんか右側に杖を持っていて、なんか登山用のにしてはか細いので、なんだろ・・普通に日常的に使ってるほうの杖なのかなって思って・・なので、何か若いっていうよりは、そこまでではないのかなって思いました。

あとなんか、そのさっきの木がチョロチョロって生えてる岩とか、霧とかが黄色くなっているのは、その開け方でなんか日の光が当たってちょっと黄色くなっているのかなって思いました。あと、真ん中の岩・・その男の人が乗ってる岩が、なんか全くもうはげちゃびんの岩なのがって思ってたんですけど、男の人の足元とか、もうちょっと下のあたりとかに雑草みたいのが生えているので、完全に岩ってわけではないなって思いました。

3 :

やっぱりどうしても・・一回そう見えてしまったからかもしれないんですけど、髪の毛の色とか、髪の毛がちょっとくせ毛かかっているように見えたりとか、もみあげの辺りにひげがあつたりとか・・あとやっぱり普通の庶民の着てる服っていうよりも、やっぱり位がある程度あるような人が着てるような、良さそうな服を着ているから、やっぱりヘンリー王子に私は見えてしまって(笑)・・

だけど、最初はなんかこの場所にいるって言うことが、こう荒波にいる、岩場にいるような風景にしか見えなかったけど、だんだん霧っていう風に見ようと変えてみた時に、やっぱりその空の色とか、霧に反映している色が、なんか黄色なのか金色なのかわからないけれど、やっぱりちょっと明け方の、これから1日が始まるって言う時間に、この人は立っているのかなっていう風に思って、最初は何か絶望があって、これから茨の道を歩く・・みたいな雰囲気がある絵なのかなって思ったけど、もしかしたらちょっとなんだろう・・すごくハッピーな、おっきなハッピーなことが起こるっていうことではないにしても、なんかちょっと希望が見えるような絵なのかなって思って・・ただこの人が、何でここにいるかとか、ここまでどうやって来たかっていうストーリーは、今私の中には描けないんだけど、でも、さっき悠さんがおっしゃったように、たぶん、この人がどういう気持ちでいるのかなっていうところに、やっぱり焦点がいっていて、何かなんだろ

う・・ただ良い景色を見るために来たっていうよりも、何か決意・・決意する気持ちがあって、こういう足場の悪いゴツゴツしたようなところに立っているんじゃないかなって思って・・
で、ただただ岩だけだったら、余計になんか厳しいイメージがあるけど、所々に自然があつたり、木があつたり、足元に草が生えてたりとか、なんかそのへんでなんかちょっとこの辺のトゲトゲしたりなんか暗いような雰囲気があってって思ってたのが、なんか和らいでいるような気がしています。多分遠くに山が見えているとかって言うのも、なんかこの先に何かこうゴールじゃないけれど、何かを目指すものがあって、そこに向いている気持ちでいるのかなっていうふうに思いました。

3人で10分間の対話

3：私は景色とかストーリーが見えなかつたんだけど、2さんの中で、登山というような話が出てきたじゃないですか、それってなんかここにこの人が、ここに来るまでのストーリーって見えたりするんですか？

2：ストーリーっていうまでは全然いかないんですけど、ただなんか・・なんだろう普通に・・あんまりストーリーはあんまり浮かんでないです（笑）。ただ普通に登って、今まで登ってきた・・登ってきて、それで今頂上で、景色を見てるのかなっていうだけは思いました。

3：なんかその山登りとかっていうところは、私は浮かばなかつたから、そうやって浮かんだんだな～と思ったんですけど、なんだろうな・・それは娯楽で登ったとか、特に何もそういうの関係なく、その人が登つたっていう事実が見えたっていう感じですか？

2：はい。そういう感じです。

3：1さんは、風景の細かいところに目がいったって言ってたけど、その細かい風景の中で、どんなところが一番気になりましたか？

1：木がたくさん生えてるところ・・になんか目が行きました。

3：岩の所に生えている？

1：なんかめっちゃ・・めっちゃなんかたくさん・・細い木が・・右側にある・・

3：なんか2さんも1さんもそうなんんですけど、何か私が見えてないところをすごく見えてて、草が生えてるところとか、空の色とか、そういうのがすごいなと思ったんですけど、この木ってどんな木だと思いますか？

1：なんか白樺の木？みたいな、細い木・・なんか白樺の木みたいなやつなのかな、もしくは、なんか竹？かなって思う思います。

2：私はなんか勝手にこれが松の木に見えて、そうすると結構なんだろう、この絵全体が日本・・日本画じゃないけれど、日本ぽい感じ・・

3：うん！

2：ちょっと見えてます。

3：2さんが言ってるみたいに、私もそんな感じがします。そうなんかちょっと水墨画っていうか、日本画っていうか、そういうのにありそうな・・木に見える・・

2：なんか普通山って、なんか山頂行って周りの山を見てみた時に、なんか大体はなんか木がモサモサなってて、緑色の山が見えると思うんですけど、この絵って、結構その右側の岩は木がちょびっと生えてるけれど、他は大体岩まるだしっていう感じなので、そこがなんか変な感じがちょっとします。

3：そう・・なんか、岩が目立っていて、なんか山なのに、木とか草とかが少ないっていうのは、確かにこの絵はそう感じますね・・あとはあるかな・・

2：なんかこの山の高さがすごい気になるんですけど、なんか雲が、雲というか霧が結構下にあるのを見下ろせるほどの高さだとは思うんですけど、結構高いような気がするんですけど、その左側のなんか岩の隅の方に、何か木みたいのが・・その岩から生えてるのと同じ木みたいのが見えているので、そうするとあまり高くないような気もするんですけど、なんか高さが気になります。

3：でも確かになんか雲海を見てるって言うと、それなりの高さがある山っていう感じがするかな・・そう思ったらこの人、服装がずいぶん軽装だなっていう感じがするけれど、その高い山を登る割には・・

2：明け方だから、そもそも寒いだろうし、その割には結構薄着な感じがします。

<Q：3さんの通信が一時途切れたため、2さんから1さんへの質問を促した。>

2：最初1分間話してた時に、なんか雲が黄色・・雲とか黄色いとかっていう話をしてたと思うんですけど、その黄色い・・なんだろう、何で黄色いのかみたいなって考えがあつたりしますか？

1：なんか・・どうして黄色いのかっていう・・なんか不思議だなって・・だけど、太陽の光とかで、なんか反射して黄色くなつてんのかな、夕方の雲とかそういうのあるから・・なんかそうなのかなって思った。でも、日の光が全く見えなくて不思議だなって思いました。

2：あーでも、なんかその黄色い色のあれが、私も確かに太陽の光なのかなと思ったんですけど、でも太陽の光って結構全面的に光ると思うんですけど、なんか右側は結構ちらほら黄色いけれど・・そんなに黄色くないので何かよくわからないです・・

*ファシリテーターから

前回（ルソー「風景の中の自画像」）と比べて、多少言語化しにくい作品だったように感じる。
ただ、その言語化できていない部分も重要なことで、後半も注目する。

<散歩で得た感想>

Q：どんな「問い合わせ」を立てましたか？

1：「問い合わせ」は、二つあるんですけど、一つ目は、どうして雲の色がところどころ黄色なんだろうってことを考えて、あともう一つは右側にある、崖に生えている木の種類は何だろうっていうことを考えてました。

プールが付いてる公園に行ったんですけど、そこのなんかプールに鴨がいた（笑）。っていうことと、後は、何かアリの巣がめちゃめちゃだったので、それを塞いでみたりとかしていました。で、何か思ったのが、たくさんアリの巣があったから、なんか「どんだけアリの巣作ってんだよ」とか思ったりしました。後は白くなったダンゴムシ？干からびたのかな？砂の中に混じってたから、そこはちょっとなんかびっくりしました。以上です。

Q：ちなみに「問い合わせ」にあった黄色の事とか、木の事ととかっていうのは、謎が解けたこととかっていうのありましたか？

1：なんか生えてる木は、何か細めの木だから、なんか白樺かなって。後は何かモミの木。広葉樹か針葉樹で考えると、なんか広葉樹かなと思ったんですけど、だけどなんか木が多分細いんですよ。真ん中の枝みたいなところが・・細いから、まあ白樺か、さっき2番さんが言っててくれたように、松の木かなとか、そのどっちかだらうなっていうのはなんか思いました。雲のことに関しては、太陽がなんか下に沈んでいって、そういうここからは見えないけど、結構なんかマチュピチュみたいな、高い所の・・それでなんか下に沈んじゃって、下にあるから、それがなんか上から見れるのかなって思いました。

=====

2：「問い合わせ」は二つあって、まったく1さんと一緒に、雲とかが黄色くなっている理由と、岩に生えてる木が何なのかです。

で、散歩は私は近くのお寺に行ったんですけど、お寺だから、結構木がいろいろ結構周りにいっぱい生えてたんですけど、何だろう・・あんまり細い感じのやつが、細い幹の感じの木はなくて、桜ばっかだったので、あんまり木についてはよくわからなかったんですけど（笑）。

なんか太陽が、今日ちょっと曇ってて、太陽ちょっと埋もれてたんですけど、だから直視した感じだと白かったので、この絵の中では黄色い？黄色くなっているのがもし太陽のせいだったんだとしたら、なんだろう・・絵全体からすると、朝な気はしたんですけど、黄色いのが太陽だとしたら、なんか夕方とか・・朝は結構、太陽光が白いと思うので、夕方の太陽で黄色いのかなって思いました。以上です。

=====

3：

私は公園に行った時に、やっぱりプールに鴨がいたり、（1番と）一緒にアリの巣を埋めたり、後砂に絵を描いたりとか、本当に子供の遊びと一緒に、散歩っていうよりも公園だったので、けっこうそういうことをして過ごしてたんですけど、なんかこの間、阿部先生の話（ひらめきや創造性を研究している認知科学分野の研究者のレクチャーがあった。）で、「ひらめき」があったじゃないですか。なんか、家でその「なぞかけ」って言うか、自分の疑問に思ってるところを、散歩しながらなんだろう・・解決じゃないけれど、考えてくださいって言われた時に、できるのかなっていうのが正直あったんですよね。で、公園に行ってもどうなんだろうと思ってたのが、なんかアリの巣を見てる時に、ふとなんかそう言えば、こう言うことかなっていうのを思ったりして、なんだろう・・環境を変えて全然関係ないことをするっていうのが、なんかこういう効果もあるんだなっていうのは、自分で気付いたなっていうのがあります。

で、どういうことを謎っていうか、不思議だなって思ったかというと、なんでこんなに軽装で雲海の見える山に登ってるんだろうって。こんな装備じゃ普通危ないよねって、なんか違和感がこの絵の中にあって。

で、多分この絵っていうのが・・それは私の解釈なんですけど、なんかその・・なんだろう風景をそのまま描くとか、風景の美しさを描くとか、何かそういうことよりも、なんかこの男の人の顔をわざと見せないとか、あとその立っている姿勢が・・すごく姿勢が良くて、多分前を向いているような感じが見えていて、やっ

ぱり何かどこかで何を決意しているかわからないけれど、決意をしてるような、何かそこを・・この描いた入っていうのは見せたかったのかなって。なんか表情が見えたから、多分伝わっちゃう・・から、そこはあえて見せないで、なんか見る人に投げているのかなっていうのが考えました。

で、やっぱりその黄色に写ってるのは、私もやっぱり朝日の・・日の光っていうのが反射されているイメージがあって、やっぱりなんかどこかにかすかな・・希望じゃないけれど、なんかこれから少しずつ希望が見えてくるっていう絵に感じて・ただ、やっぱりこの崖のゴツゴツ感とか、生命みたいな、木とか生えてるけれども、まばらだったりとか、遠くに見える山が、見えてるけれどやっぱりまだまだ遠くにあったりとかっていうのが、なんか・・なんとなく・・なんだろうな・・険しいことを乗り越えてきて、その先に見えている景色なのか何かわからないけれど、なんか険しさと、なんかちょっとした希望みたいなのが混ざっていて・でも、なんか多分この人の表情は晴れやかじゃなくて、なんか眉間にちょっとしわが寄っているじゃないけど、なんかたぶんものすごい・・なんだろうな、やっぱり険しさを超えたって言うか、抱えてここまでなんか来たっていう・気持ちがなんかある人なのかなっていう風に・・感じました。以上です。

=====

＜総括＞

- ・「さんぽ」によって、鑑賞する時間の中で作品から離れ、全く関係のない事象と出会い、それを関連付ける作業が自然に行われるなどすることで、起こる思考の広がりや跳躍を意図したプログラムだった。よって、前回行ったカードを使った鑑賞と、構造的には類似している。
- ただ、その意図については事前に参加者に明らかにすることで、もう少し違った結果が得られたのかもしれない。

- ・1は、さんぽでの感想において、殆どが鑑賞に関係のない、本当に現場で出会った事象について話している。ただ、その作品と全く関係ない情景（プールのカモ、アリの巣、ダンゴムシの死骸）が、鑑賞の言葉として出てくる感覚は、個人的には詩的な感覚、次元を変えた事象が出会う感覚があり、「韻 to the picture」のような、鑑賞を通しての創作物としての可能性を感じる。うまくまとまった言葉にならないが、大変興味深いものがあると感じる。

また、そういった関係のない事柄がありつつも、感想の後半は作品のことについて、さんぽ前より考察が進んでいることも興味深い。太陽の光が雲海の上からではなく、下から指しているのでは？という指摘は、文字起こしをして気づいたが、大変おもしろい視点の転換だと感じる。

- ・2は、絵の中の情景と実際の情景（太陽光の色）の違いをもとに、後半で鑑賞の視点を修正している点がよい。また、さんぽの情景として出てくる「寺」や「桜」と言ったワードが、1と同様にやはり、絵と関係していない次元の現れてとして面白い。

- ・3は上記のプログラムの意図をなぞるような体験がさんぽ中にあったようで、多様な解釈と、その変化が最後の感想を見て取れる。また、その思考は自身の中でかなり深められていて、この作品について、一般的な解説としてよく書かれるような内容をざっと見渡すようなものになっていると感じる。

- ・1はゲームのパッケージとの類似を最初似の出ているが、たしかにそのゲームのパッケージとの関連を指摘するテキストがあった。<https://news.denfaminicogamer.jp/kikakuthetower/180330b/amp>
また、同様に「マインクラフト」でも、この作品をイメージしたアイテムが有る。<http://takumi-room.blog.jp/archives/3648187.html?fbclid=IwAR0dJ0QTKHF7uc8em1vlwnsfKAeBaqRp6qUI5CF2LfL2AaGcGlcDIxmebA>

参考資料

カスパー・ダヴィッド・フリードリヒ

1774~1840 ドイツ

ドイツロマン主義絵画を代表する画家 宗教的寓意を含む風景画

バルト海沿いの小さな港町に生まれる。10人兄弟の6番目。幼少の頃、妹を亡くす。

13歳のとき、自分がスケート中に氷が割れて溺れたところ、助けようとした一番下の弟が溺死してしまう。

「頬づえをつく自画像」1802



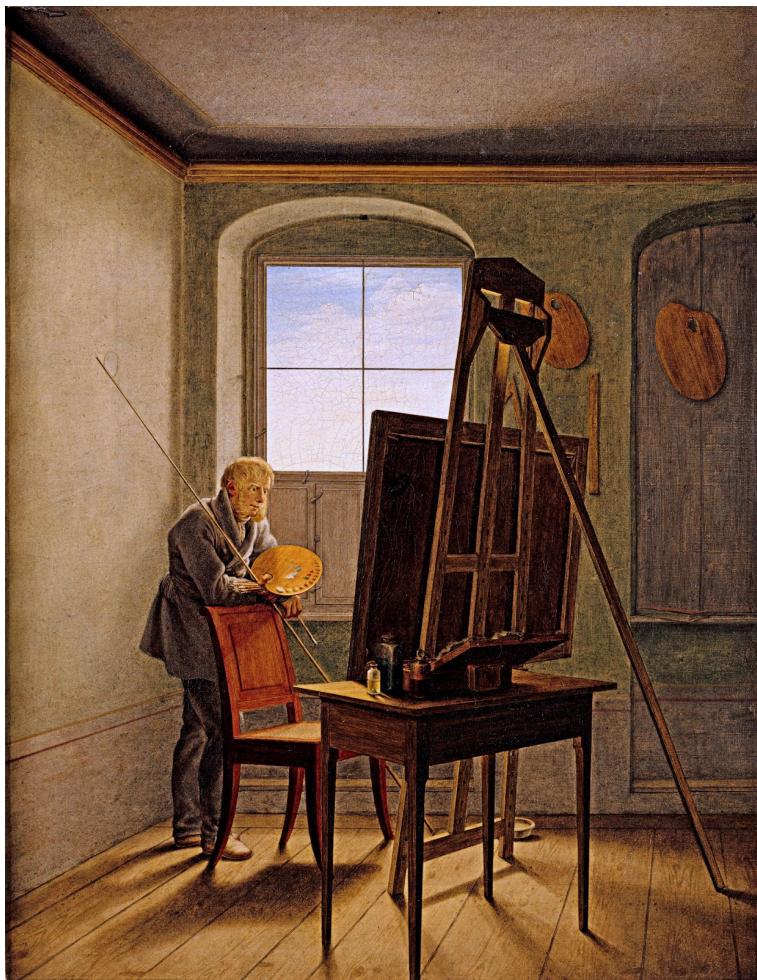
ゲルハルト・フォン・キューゲルゲンによる肖像画 1810-1820 ↑



36歳の自画像 1810



「フリードリヒとそのアトリエ」1811↑
余計なものは何も置かない。
窓の見える部分は占める。
な相棒は、手を画面につけないように。



「フリードリヒとそのアトリエ」1819↓
ゲオルグ・フリードリヒ・ケルスティング
(友人が描いた絵)

スケッチをもとに、イメージを組み立てて、風景画を描く。
＊本当の風景をそのまま描いているのではない。
チューブ入り絵の具の誕生＝1840年頃



「山上の十字架」 1807~1808

キリストと十字架が小さく後ろ向きに＝
従来の宗教画では考えられない構図 物議を醸す。

＜肉体の目を閉じよ。
そしてまず精神の目で自己の像を見るのだ＞



「海辺の修道士」 1808~1810



「樺の森の中の修道院」 1809~1810

対になった作品
大きな自然と小さな人間（後ろ姿）

「氷の海」 1823-24

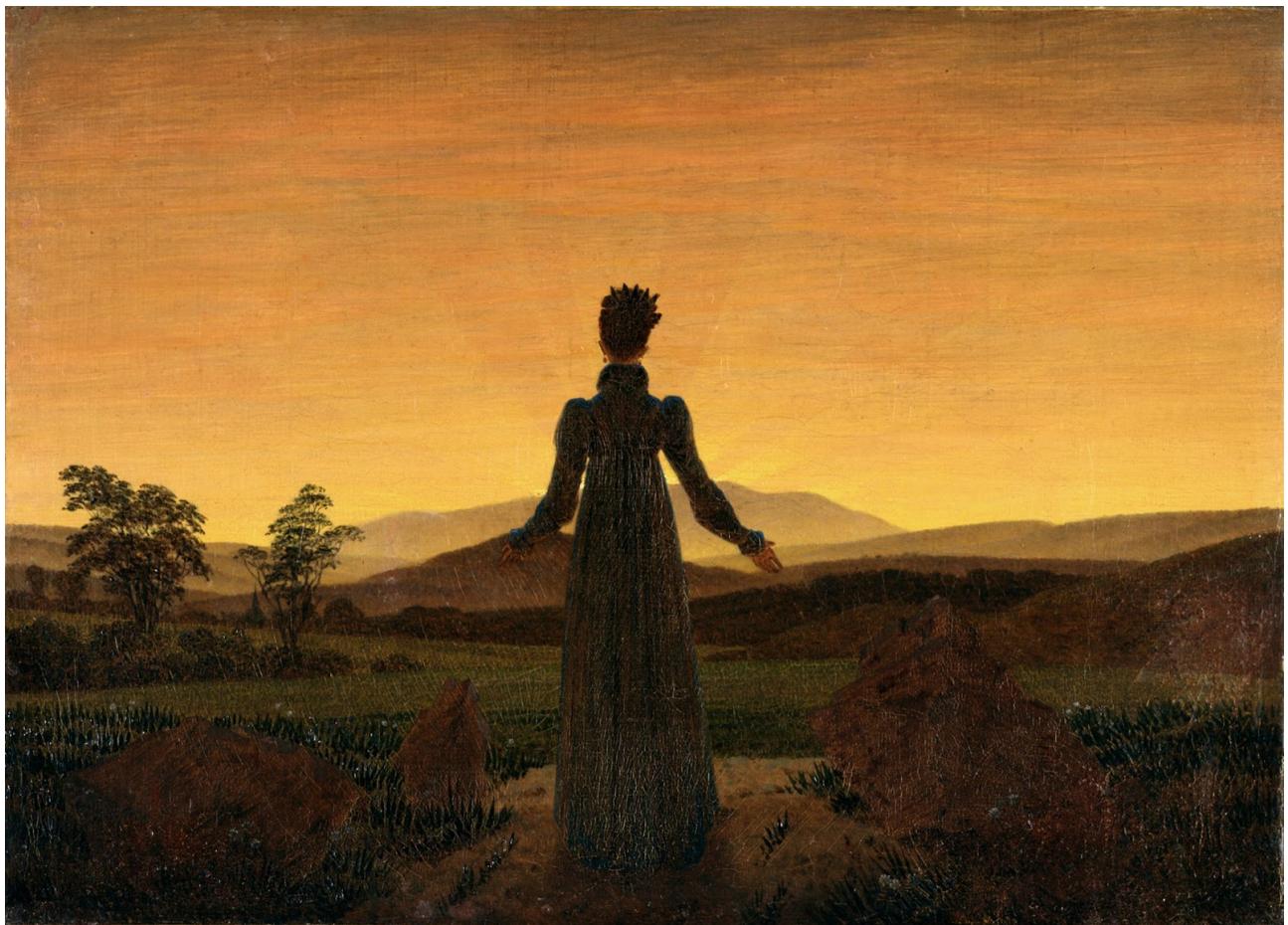


代表作のひとつ。実際にこの場所へ行ったことがあるわけではない。



「雲海の上の旅人」 1818

＜私は自然を完全に見つめ、感ずるために、
一人でとどまり、自分が一人であることを知らねばならないのです＞



「朝日の中の婦人」 1818↑

←「窓辺の婦人」 1822

「なぜ後ろを向いているのだろう？」

作品↓

https://commons.wikimedia.org/wiki/Caspar_David_Friedrich?uselang=ja

